

平成26年11月18日

杉並区議会議長  
齊藤 常男 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会  
委員長 市来 とも子

### 文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

平成26年9月29日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた区の取組について

平成26年5月、市内のさまざまな取り組みの調整を図るため「2020東京オリンピック・パラリンピック市内連絡調整会議」を設置したとのこと。また、気運醸成事業として、敬老会での1964年東京オリンピック・パラリンピックの写真パネル展示、郷土博物館分館での「1964東京オリンピックと杉並」の企画展、ふれあい運動会やすぎなみ舞祭での東京オリンピック・パラリンピック50周年記念グッズの配布やすぎなみフェスタ2014でのパネル展示のほか、平成27年3月14日には関連講演会の開催を予定しており、今後も気運醸成に努めていくとのこと。

今後のスケジュールとして、国が推進するホストシティ・タウン構想に関連し、各自治体に対し活動状況の把握やアンケート調査の実施、参加の呼びかけ等が予定されているとのこと。

##### (2) 平成26年度文化・芸術振興事業の概要について

区民の豊かな文化芸術鑑賞機会の提供や振興を図るため、①日本フィルとの友好提携事業、②区民ギャラリーの活用、③文化・芸術振興審議会の開催、④文化・芸術活動への助成、⑤情報誌「コミュかる」の発行、⑥杉並ゆかりの文化人アーカイブ事業、⑦「古典の日」関連事業を実施しているとのこと。

今年度、杉並ゆかりの文化人アーカイブ事業では、染織家で名誉区民、人間国

宝の佐々木苑子氏、舞踊家の小松原庸子氏ほか1名を予定しているとのこと。また、「古典の日」関連事業では、平成26年11月29日（土）に、子どもたちが落語、歌舞伎、昔あそび、水引細工などの日本の古典を気軽に体験できる事業を実施する予定とのこと。

(3) スポーツ振興課における新たな事業等の実施について

① すぎなみスポーツアカデミー

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた区の取り組みの一つとして、質の高い指導者等の育成を目的に開講するとのこと。指導者養成講習会、スポーツに関するコーディネイト技術を身につけるためのコーディネーター養成講習会、スポーツを楽しく安全に続ける力を身につけるスーパーキッズ講座や障害者スポーツの支援方法を学ぶ障害者サポーター講座があり、公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に委託して実施するとのこと。

② 次世代トップアスリートの育成・支援

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子ども」を育成する事業で、スポーツを取り巻く多様な可能性に気づく機会の提供やパラリンピック種目の体験やオリンピック教育を組み入れ、オリンピック・パラリンピックへの見聞を深める内容とのこと。

対象は杉並区内在住の中学生及び小学校5、6年生40名で、平成27年1月17、18日に実施予定とのこと。

③ 杉並区公共施設予約システム「さざんかねっと（スポーツ施設）」の再構築に係る主な変更点について

10月1日から、新システムが稼働予定とのこと。主な変更点は、抽選結果のメール配信や「かんたん操作」と「多機能操作」の画面選択が可能となったこと、また、各種スポーツ教室の検索や閲覧機能の充実とのこと。その他、貸切使用については、平成27年1月に使用料が、4月からは利用手続きが変更になり、一般使用の一部も平成27年1月から変更となるため、十分な説明を行っていくとのこと。

以上のとおり、3件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上